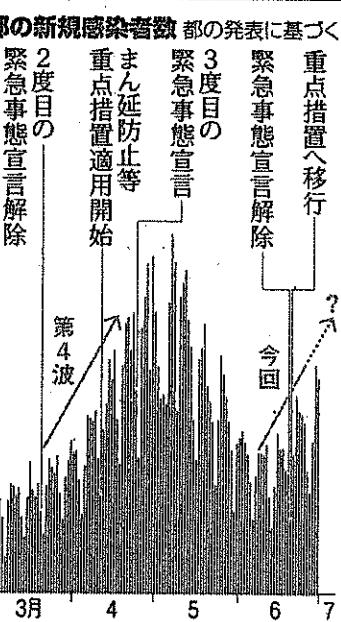


# 東京、ステージ4相当

東京都は1日、新型コロナウイルス対応のモニタリング会議を開いた。直近の新規感染者数（週平均）は約503人に上り、前週より約85人増と大きく上昇した。都内の主要繁華街での夜間の人出は3月末ごろの水準に到達したことも報告され、専門家は、第4波よ

りも早いペースで感染状況が悪化する可能性を指摘した。▼3面=酒提供は都内では1日、673人の感染者が確認された。人口10万人あたりの療養者数も32人で、ステージ4（30人以上）を上回る。

同日時点の病床使用率は25%でステージ3にとどまるが、都はこれまでステージ4相当になった場合、飲食店での酒類提供を再び自粛する方針を示している。



1日の都のモニタリング会議では、新規感染者数（週平均）の前週比が120%に達し、3週連続で大きく上昇しているとして、専門家から「人流の増加や感染性が高い変異株の影響を踏まえると、(感染者数が最多となつた) 第3波を超える

宣言の自安としている最も深刻なステージ4相当（25人以上）を超過した」との試算も報告された。東京都医学総合研究所の西田淳志・社会健康医学研究センター長は、緊急事態

宣言が解除された6月21日以降の10日間で、主要繁華街の夜間滞留人口が21.5%増加したと報告。飲食店などへの営業時間短縮要請の閉店時間を過ぎた午後10時前後の滞留人口も急増しているとした。西田氏は、夜間滞留人口は第4波に入りした3月末ごろの水準にすでに到達しているとして、「第4波よりも早い

に達し、3週連続で大きく上昇しているとして、専門家から「人流の増加や感染性が高い変異株の影響を踏まえると、(感染者数が最多となつた) 第3波を超える

が、都はこれまでステージ4相当になった場合、飲食店での酒類提供を再び自粛する方針を示している。